

PACシール認定仕様書

国土交通大臣認定

認定番号 PS060FL-0113 (床)

関西パテ化工株式会社

# 認 定 書

国住指第 8335 号  
平成 15 年 3 月 17 日

関西パテ化工株式会社  
代表取締役 川上 好光 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号

PS060FL-0113

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

ケーブル/酢酸ビニル-エチレン共重合エマルジョン樹脂混入水酸化アルミニウム・ほう砂充てん/床耐火構造/貫通部分（中空床を除く）

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 構造名：  
ケーブル/酢酸ビニル-エチレン共重合エマルジョン樹脂混入水酸化アルミニウム・ほう砂  
充てん/床耐火構造/貫通部分（中空床を除く）

2. 申請仕様の寸法：  
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項目	申請仕様	
開口部	形状	円形 (φ58mm、φ83mm、φ108mm、φ133mm、φ158mm)
	面積	0.0026~0.0196m <sup>2</sup>
占積率 (開口面積に対するケーブル断面積の総合計の割合)		9.2~19.7%
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート 厚さ100mm以上(中空床を除く)

3. 申請仕様の主構成材料：  
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

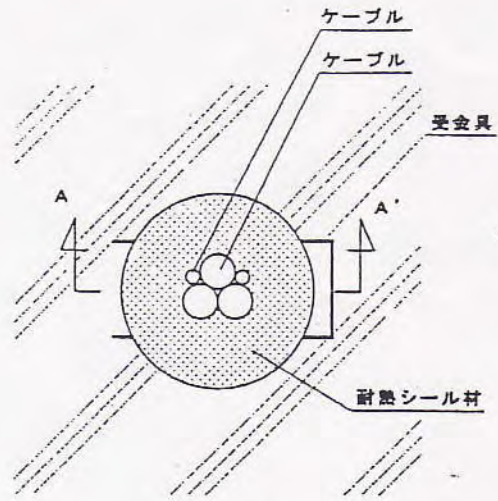
項目	申請仕様					
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	250mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり)				
	導体(又は芯線)の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質				
	絶縁体	塩化ビニル系	厚さ	1.8mm以下	質量	81g/m以下
		架橋ポリエチレン系	厚さ	2.5mm以下	質量	475g/m以下
		耐燃性ポリエチレン系	厚さ	1.2mm以下	質量	47g/m以下
	シース	塩化ビニル系	厚さ	1.8mm以下	質量	617g/m以下
耐燃性ポリエチレン系		厚さ	1.8mm以下	質量	547g/m以下	
準拠規格	電力用ケーブル：JIS C 3605 ビニル絶縁電線：JIS C 3307					
酢酸ビニル-エチレン共重合エマルジョン樹脂混入水酸化アルミニウム・ほう砂充てん材(以下耐熱シール材という)	組成(質量%)	水酸化アルミニウム：44±5 ほう砂：30±5 けい酸アルミニウム：9±2 酢酸ビニル-エチレン共重合エマルジョン：10±5 可塑剤・繊維等：7±2				
	形状	ブロック状				
	寸法	38mm×80mm×245mm				
	密度	1400±100 Kg/m <sup>3</sup>				
	充てん量	隙間が無いように密に充てん(高さ75mm)				
	ロックウール保温板(以下底板という)	規格	JIS A 9504			
		厚さ	25mm			
密度		150Kg/m <sup>3</sup> 以上				

4. 申請仕様の副構成材料：  
申請仕様の副構成材料を表3に示す。

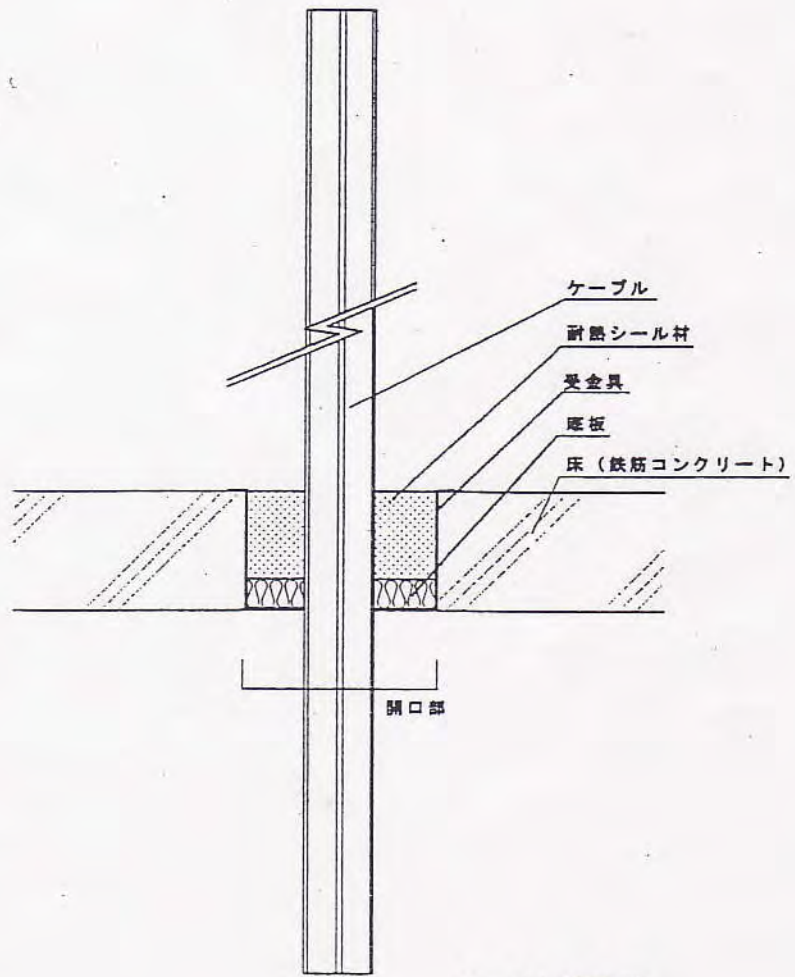
表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様	
受金具	材質	亜鉛めっき鉄線
	規格	JIS G 3547
	太さ	φ2.6mm以上
	形状・寸法	図2構造説明図参照

5. 構造説明図：  
構造説明図を図1～図2に示す。

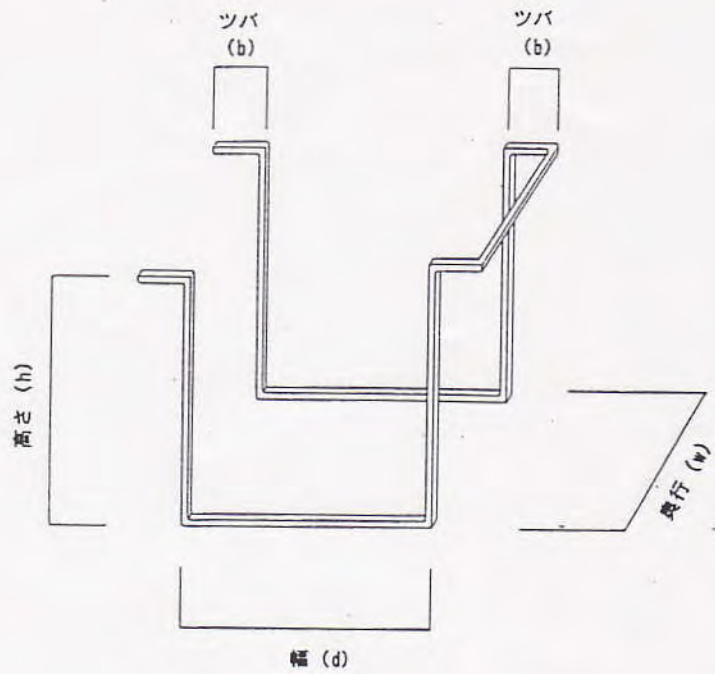


平面図



A-A' 断面図

図1 構造説明図



受金具詳細図

受金具寸法

(単位 mm)

名称 (呼び径)	寸法				太さ (線径)
	高さ (h)	幅 (d)	奥行 (w)	ツバ (b)	
φ58	100	46	40	20	2.6以上
φ83	100	68	40	20	2.6以上
φ108	100	94	50	20	2.6以上
φ133	100	108	60	20	2.6以上
φ158	100	133	80	20	2.6以上

図2 構造説明図

## 6. 施工方法

施工図を図3に示す。

施工は以下の手順で行う。

### (1) 開口部の確認及び清掃

開口部面積、ケーブル占積率及び床厚等が申請仕様に適合しているかどうかを確認する。

開口径はφ58mm、φ83mm、φ108mm、φ133mm、φ158mmの5種類の仕様とする。

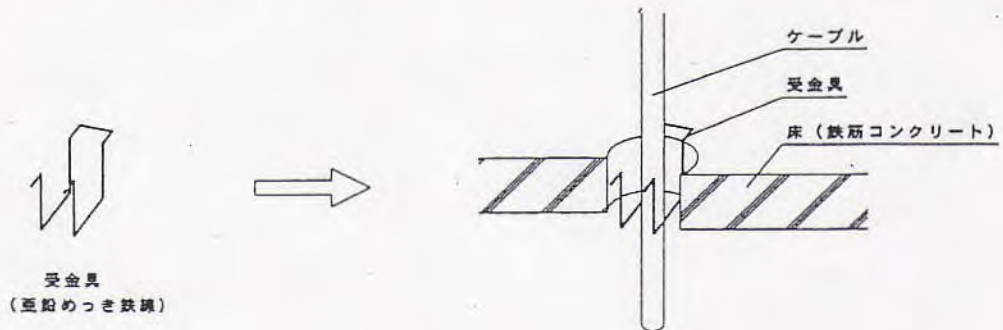
なお、開口及び周辺部の汚れ等がある場合は、あらかじめウエス等で掃除を行う。

### (2) ケーブル貫通部材の設置

ケーブルの貫通部材に外傷等の異常が無い事をチェックした上で、所定の部材を所定の位置になるようにケーブルを束ねて固定し設置する。

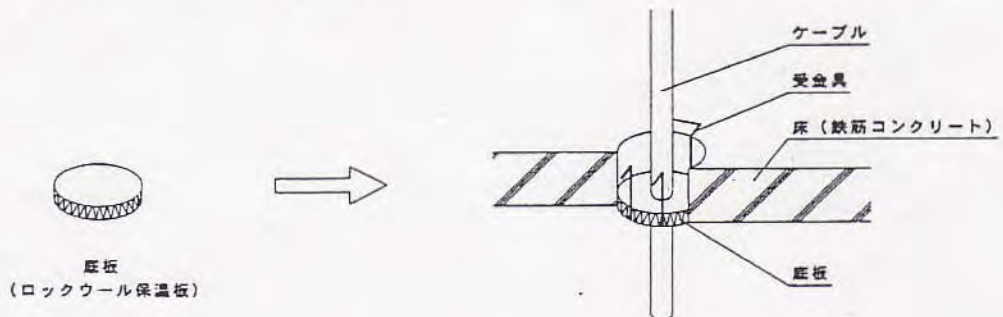
### (3) 受金具の取付

受金具を貫通孔の開口径に合わせて、各一個ずつ取付ける。



### (4) 底板取付

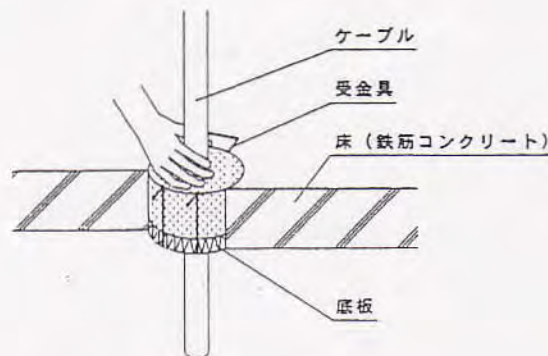
開口径に合わせたロックウール保温板 (密度150Kg/m<sup>3</sup>以上) 25mmの厚さの底板を、受金具に添って押し下げ、貫通孔底部に取付ける。



### (5) 耐熱シール材の充てん

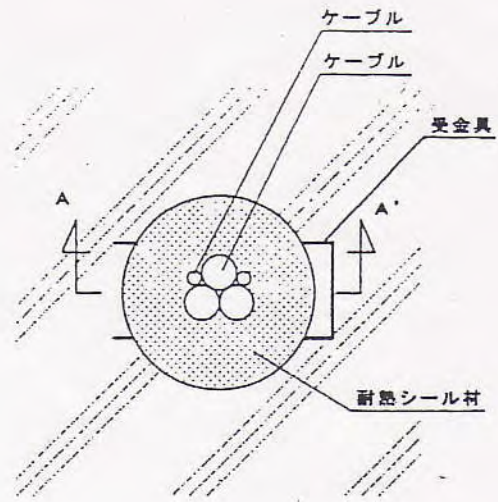
ケーブルと底板との隙間を、耐熱シール材にて密実に充てんする。

その場合、底板上面からの充てん高さはそれぞれ75mmとする。

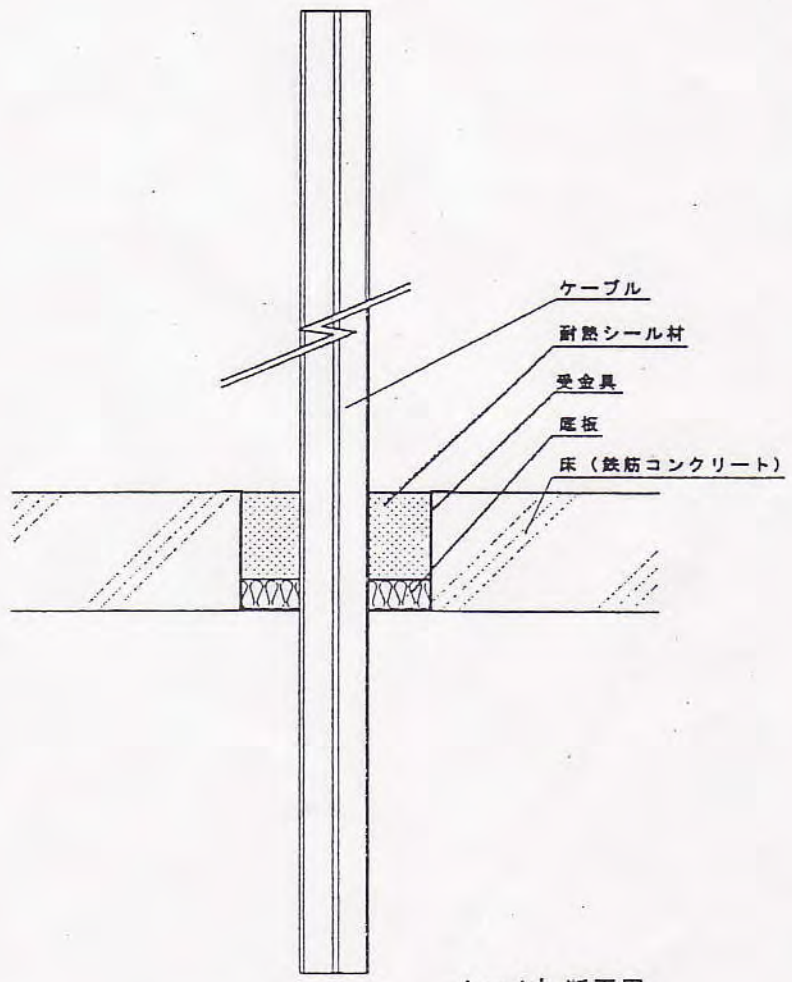


### (6) 確認検査

ひび・割れ・盛上げムラ等の異常がない事を確認する。



平面図



A-A' 断面図

図3 施工図